

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

小学1・2年
おすすめ

『かにむかし』

木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店（約11分）



「さるかに合戦」の昔話絵本。「かにどん かにどん どこへゆく」「さるのぼんばへ あだうち」の問答や、ユーモラスな擬音が繰り返されるので、耳で聞くとより印象的。ただ、独特なリズムがある文章なので、よく練習してから読んでみたい。サルが仇討にあう場面は、次頁の文を読みながら絵を見せよう。



2014
秋号

学校などでの読み聞かせのポイント⑩

『かにむかし』のように、**絵と文のかみあわせ**が必ずしもうまくいっていない絵本もあります。そんなときは、**読み手の方で絵と文を調整**しましょう。先に絵を見ると、**話が割れてしまう**時には、特に気を付けましょう。



『ものぐさトミー』

ペーン・デュボア／文・絵 松岡享子／訳 岩波書店（約13分）

トミー・ナマケンボは、電気仕掛けの家に住んでいる。おふろ、歯磨き、着替え、食事まですべて自動。ところがある日、嵐で電気が止まってしまう。一週間後、ようやく機械が動き出すが、おふろの水はつめたいし、食事は7日分ふってくるし……。本は小さめだが、とびきり愉快なストーリーが、子どもたちをひきつける。

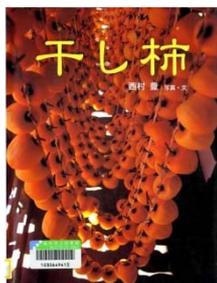
小学3・4年
おすすめ



小学5・6年
おすすめ

『干し柿』

西村豊／写真・文 あかね書房（約8分）



日本の伝統的な保存食 干し柿のできるまでを追った写真絵本。渋柿の皮を手でむき、縄でつなぎ、軒下で干していく。太陽の光を浴びて輝く柿が、ずらりと干された場面は圧巻の美しさ。最後は、藁の上で平らに干して出来上がり。後半の子どもたちによる干し柿づくりは、こちらもやってみたくなる。秋の読み聞かせにぜひ。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
（2014.8発行）

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索